

お客様各位

2022年11月9日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

此の度、2022年11月9日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第22823号 ホクコーファーストオリゼフェルテラ粒剤

適用変更の内容

- ・作物名「稲(箱育苗)」の使用量に「高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5 $\frac{1}{2}$ 畝)1箱当り50～100g)」を追加する。

【変更後の適用内容】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロラントラニプロールを含む農薬の総使用回数	プロパナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5 $\frac{1}{2}$ 畝) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗培土に均一に混和する。	1回	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ				育苗箱の床土に均一に混和する。		
	もみ枯細菌病 白葉枯病 イネヒメハモグリバエ		は種時 (覆土前)		育苗箱の床土に均一に散布する。		
	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ フタオビコヤガ ニカメイチュウ ツマグロヨコバイ イネツトムシ イネヒメハモグリバエ	高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5 $\frac{1}{2}$ 畝)1箱当り 50～100g)	は種時 (覆土前)				

次ページへ続く

前ページから続く

【変更後の注意事項（追加部分）】

- ・ 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- ・ 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5%）1箱当りに乾糶として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照下さい。

以上